

## 3日 火曜

### ヤコブ

2:1 私の兄弟たち。あなたがたは、私たちの主、栄光のイエス・キリストへの信仰を持っていながら、人をえこひいきすることがあってはなりません。

2:2 あなたがたの集會に、金の指輪をはめた立派な身なりの人が入って来て、また、みすぼらしい身なりの貧しい人も入って来たといいます。

2:3 あなたがたは、立派な身なりをした人に目を留めて、「あなたはこちらの良い席にお座りください」と言い、貧しい人には、「あなたは立っていないさい。でなければ、そこに私の足もとに座りなさい」と言うなら、

2:4 自分たちの間で差別をし、悪い考えでさばく者となったのではありませんか。

2:5 私の愛する兄弟たち、よく聞きなさい。神は、この世の貧しい人たちを選んで信仰に富む者とし、神を愛する者に約束された御国を受け継ぐ者とされたではありませんか。

2:6 それなのに、あなたがたは貧しい人を辱めたのです。あなたがたを虐げるのは富んでいる人たちではありませんか。また、あなたがたを裁判所に引いて行くのも彼らではありませんか。

2:7 あなたがたがその名で呼ばれている尊い御名を汚すのも、彼らではありませんか。

2:8 もし本当に、あなたがたが聖書にしたがって、「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」という最高の律法を守るなら、あなたがたの行いは立派です。

2:9 しかし、もし人をえこひいきするなら、あなたがたは罪を犯しており、律法によって違反者として責められます。



2:10 律法全体を守っても、一つの点で過ちを犯すなら、その人はすべてについて責任を問われるからです。

2:11 「姦淫してはならない」と言われた方は、「殺してはならない」とも言われました。ですから、姦淫しなくても人殺しをすれば、あなたは律法の違反者になっているのです。

2:12 自由をもたらす律法によってさばかれることになる者として、ふさわしく語り、ふさわしく行いなさい。

2:13 あわれみを示したことがない者に対しては、あわれみのないさばきが下されます。あわれみがさばきに対して勝ち誇るのです。

貧しい人に特別良くしてあげなさいということではなく、「えこひいきしてはいけません。」ということです。ただし現実的に言って、身なりの良い上品な人には丁寧に接してしまうであろうというのです。

それは神様の価値観とは違います。私たちは人の内面、特に教会ではその人のたましいの状態を第一に考えるべきです。主を求めている人に対しては、そのように必要を満たして差し上げるのです。そこには貧富は関係ありません。

また神様を求めないで、自分の都合や打算で教会に来る人には、主を求めようになるまで待つことも必要です。貧しい方だからといって、神様から離れた目的にまで協力してあげる必要もありません。これもまた貧富は関係ありません。

いずれにしても、人をえこひいきするのは、御心に反することであり、他の「律法」は守っているからといっても、そこをいい加減にはできないのです。

えこひいきしていないでしょうか。だいたい守っているからと、何かをいい加減にはしていないでしょうか。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

